

子どもたちの環境意識向上を願い、初めての出張授業。



大人の間では「SDGs」や「サステナブル」という言葉がすっかり定着しましたが、これからの社会の担い手である子どもたちも最近では SDGs や環境問題などの学びの機会が増えているとのこと。

昨年 12 月に開催された「エコプロ 2021」に出展した際には社会科見学の小中学生もたくさん来場し、和紙繊維〈CURETEX®〉に興味を持ってあれこれ質問してくれてスタッフ一同、関心の高さに驚いたほどです。

そしてその「エコプロ 2021」での出会いがきっかけとなり、このたび株式会社キュアテックスとして初めて小学校で環境教育の特別授業を行いました。

招いてくださったのは、東京都多摩市立連光寺小学校の関口寿也校長先生。東京都小中学校環境教育研究会の会長も務めていらっしゃる、環境教育に大変熱心な先生です。

ブースに立ち寄られた際のやりとりから「建前や利益追求のためではなく本気で SDGs に取り組んでいる企業」と評価していただき、ぜひ子どもたちにその想いや事業活動について話して欲しいと出張授業を依頼していただきました。これは私たちにとって、本当にうれしく誇らしいこと！

連光寺小学校では小学校生活の総まとめとして

6年生が「総合的な学習の時間」でSDGsを学んでいるとのことで、出張授業は6年生2クラスが対象。

まずは和紙繊維〈CURETEX®〉が

原料から製品になり土に還るまでのプロセスをお話しし、
実際の糸やマスク、Tシャツなどの製品、
さらには生分解の進んだ状態を見ていただきました。

生分解性というちょっと難しい内容も

実物を見ることで興味を持ってもらえたようで、
それが廃棄物削減や脱炭素につながることもすぐに理解して
「そうなんだ!」「すごい!」という反応が。

また〈CURETEX®〉を土壌改良に活かして栄養価の高い野菜を育て、
ハラルやヴィーガンに対応した加工食品を作っている
キュアフーズ事業の紹介では、
「食の多様性への配慮」「食のバリアフリーの実現」という
SDGsにもつながる大事な考え方を、
想いをこめて丁寧に伝えました。

初めての授業で緊張気味だった講師も

熱心にメモを取ったり、次々質問してくれる生徒さんの姿に
元気をもらい、感動のうちに無事終了。

連光寺小学校の関口寿也校長先生、6年1組・2組の生徒のみなさん、
ありがとうございました!

私たちが子どもたちにいちばん伝えなかったのは、
たとえば買い物で何を選ぶかというような
毎日の暮らしの中のちょっとした行動が、
実はSDGsと密接に関連しているのだということ。

子どもたちと直接触れ合えるこのような機会があれば
私たちはこれからも積極的に取り組んでいきたい。

未来を創る子どもたちがSDGsや環境問題への意識を高め、
暮らしの中でのアクションにつなげてくれたら、と願っています。